

## 化学工学会第 43 回秋季大会 シンポジウム S-36

### 「次世代エネルギーデバイスおよびその関連技術の展開－材料・プロセス・システム－」 報告書

本シンポジウムはエネルギー部会、反応工学部会、材料・界面部会の三部会共催で、秋季大会初日および二日目に開催され、シンポジウム全体の講演数は、招待講演 3 件、一般講演 33 件の合計 36 件であった。招待講演として東北大学多元研の本間格先生に「次世代電池デバイスの展望とナノテクノロジーの有効性」、大阪ガスの鈴木稔様に「家庭用 SOFC コージェネシステムの開発・実証と各種 SOFC システムの展望」、東京大学の山田興一先生に「低炭素社会に向けた技術シナリオ」という題目でそれぞれご講演頂いた。昨今のエネルギー事情への関心が反映され、リチウムイオン電池を中心とした次世代デバイスの材料開発をご紹介頂いた本間先生や、技術開発のロードマップを示された山田先生のご講演では、大教室に関わらず満席となった。一般講演では、太陽電池、固体高分子形燃料電池、固体酸化物形燃料電池などの次世代エネルギーデバイスを対象に、触媒、電解質などの材料開発から、デバイス内の熱・物質移動特性に関する研究まで多数の報告がなされ、材料、プロセス、システムの研究に基づく幅広い視点から化学工学ならではの討論を行うというシンポジウムの目的は果たせたものと考えている。

オーガナイザー(材料・界面部会担当)  
東京工業大学 田巻孝敬